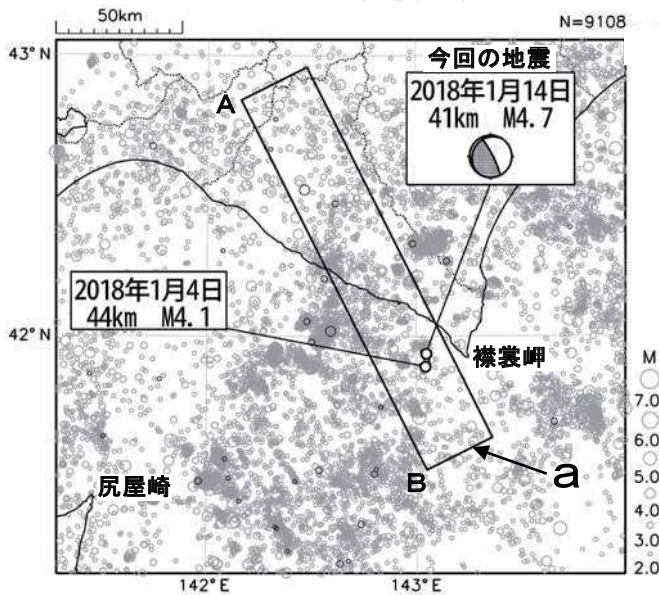
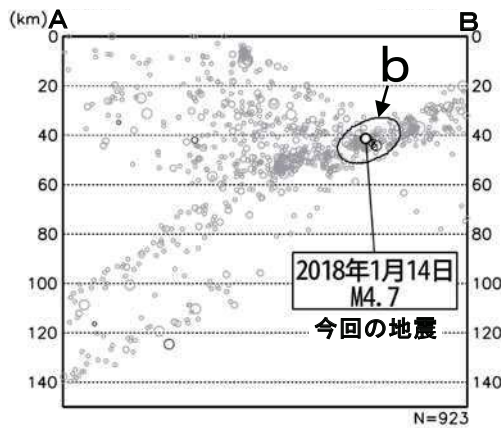


1月14日 浦河沖の地震

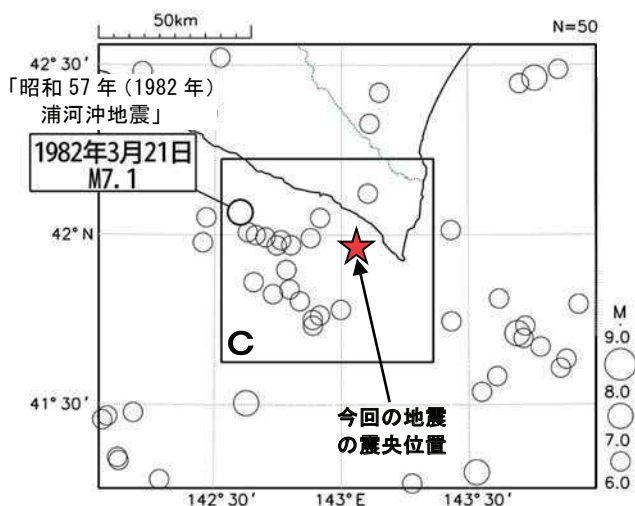
震央分布図
(2001年10月1日～2018年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2018年1月の地震を濃く表示



領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図
(1923年1月1日～2018年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

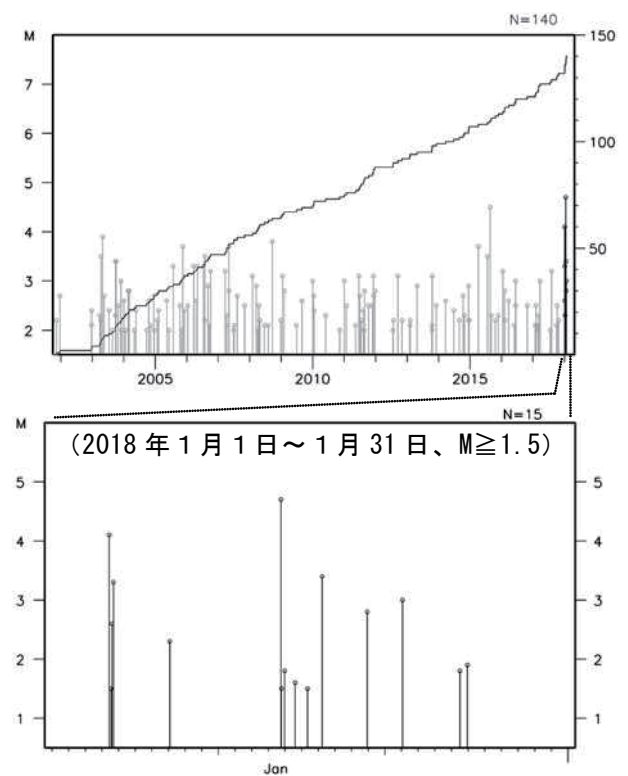


2018年1月14日18時07分に浦河沖の深さ41kmで $M 4.7$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震の震源付近（領域b）では、4日に $M 4.1$ の地震（最大震度2）が発生するなど、地震回数がやや増加した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 4$ 程度の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（ $M 7.1$ 、最大震度6）では、北海道で重軽傷者167人、住家全半壊41棟などの被害が生じた（「昭和57・58年災害記録」（北海道、1984）による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

